

ゲリラ豪雨備え編

昨年夏あたりから、突然の集中豪雨に見舞われその予測の難しさから、ゲリラ的に起こる豪雨【ゲリラ豪雨】という呼び名などでついた不意の大雨。「バケツをひっくり返したような」とか、「滝のような」等と表現される圧倒的な降水量と激しい雨、乱れた大気による突風など、大変危険なものです。出先で雨宿りが必要になったり、車の運転中に恐怖を感じ線行したり…なんて経験はありませんか??

ここでは、まずマイホームをゲリラ豪雨の災害から少しでも守る知恵をご紹介します。いつ起きるか分からないゲリラ豪雨に対して、出来る限りの対策をとっておきましょう。



▶ 家周り

- 家の周りにあるもので、風の影響を受けるものを片付けるか、しっかり固定しましょう。
※ごみ箱・プランター・バケツなど庭の小物類
- 庭木が強風で倒れたり折れたりしないように、あらかじめ剪定しロープなどで固定しましょう。
※庭木が強風にあおられるために奥谷が痛むことも考えられます。
- 屋根瓦のひび割れ・ずれ・はがれなどが無いか、確認し補修しましょう。
※一時間に70ミリをこえる豪雨では、ちょっとした隙間から雨漏りが発生することもある。
- ベランダの排水溝には、枯葉や洗濯ものから落ちた糸くず・髪の毛などで、結構詰まっているものです。急な豪雨で排水が間に合わないと、ベランダに水が溜まり、思いがけない場所から雨漏りが発生することもあります。季節の変わり目など定期的にゴミを取り除きましょう。

▶ 洪水に備えて

- 浸水する可能性のある出入口などには、豪雨時などいざというとき、水の浸入を防ぐための土嚢袋を用意しておく和良好的ですが、一般家庭で泥や砂を用意することは困難です。そこで、誰でも作れる手づくり止水版、手造り水嚢を提案します。
- ① 出入口に長めの板を置き、水圧で倒れないように40リットルのゴミ袋を二重にして水を半分ほど入れ段ボールの箱に入れて並べる。
 - ② 土を入れたプランタンをレジャーシートで巻いて止水板とする。
 - ③ そのほか、水を吸い込むとふくらんで土嚢袋と同じ働きをする「吸水ゲル水嚢」なども市販されています。

いざという時に役立つHP

○気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象警報・注意報、台風情報、洪水予報、土砂災害警戒情報など。

○国交省 防災情報提供センター

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html> (モバイル)

リアルタイム雨量や災害情報などを提供。

○国交省 川の防災情報

<http://www.river.go.jp/>

<http://www.i.river.go.jp/> (モバイル)

全国のレーダー雨量、洪水予報、毎時間ごとの川の水位、気象情報・注意報などが確認できる。

○東京都水防災総合情報システム

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/suibo/>

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/suibo/k> (携帯)

東京都の降水量や河川水位情報をリアルタイムに提供。